



さいたま新都心に一番近い学校

# 下落合小だより

学校目標 よく考える子 思いやりのある子 明るく元気な子

平成 29 年 2 月 号

平成 29 年 2 月 1 日

さいたま市立下落合小学校

電話 852-2280

FAX 852-0188

## 「5年生の涙」から



対 与野本町小学校

校長 稲垣克行

本年度のまとめの時期になりました。この一年、  
どの子どももよく成長したと感じています。

さて、1月24日（火）に、中央区の5年生の  
球技大会（バスケットボール）が開かれました。  
本校は、校内予選を勝ち抜いた5年3組が代表と  
して出場しました。結果は敢闘賞で、「よく頑張  
ったで賞」を頂きました。子どもたちは、優勝を  
目標にしていました。最後の試合終了のホイッス  
ルとともに、目標が達成されなかった悔しさ、頑  
張ってきた思い、緊張感からの解放などが混ざっ  
たのでしょうか、涙する子どもも多くいました。「一生

懸命頑張ってきた結果の涙」を知った瞬間だったように思います。

今教育の世界で、豊かな心をもち、力強く生きていく子どもの育成が課題とされています。昔に比べ、便利な生活になり価値観も変わり、「考えなければならない場」「目標に向かって努力する場」「努力を継続する場」が少なくなったとされています。

日本で一番東京大学に合格者を出している学校の校長先生のお話を聞く機会がありました。学校行事などに、一時代前の行事が今も多く残っていることに興味をもちました。そして、「生徒の主体性を尊重し、生徒自身が、無批判に過去の方法を受け入れず、様々なことを自分の頭でしっかりと考え、徹底的に話し合い、常に最高のものを作りだしていく活動を行っている。」が印象的でした。今の世相を風刺した言葉に「就社」があります。「就職」の「自分を生かすための『職（職種）』に就く」ではなく。「会社（ブランド）」に所属するということのようにです。

「5年生の涙」から、表面上の華やかさに惑わされることなく、一生懸命になること、協働することの価値を教わったように思います。これからも子どもたちが頑張れる環境（時には背中を押すことも）を大切にしたいと考えています。応援よろしくをお願いします。



### 図書ボランティアさんによる読み聞かせ

毎週木曜日に、全校読書を行っています。1月26日（木）には、4・6年生に図書ボランティアさんによる読み聞かせをしていただきました。子どもたちは、静かな、心温まる時間が過ごせたようです。下落合小の子どもたちは、大人や地域に対する信頼が高いように思います。これも防犯ボランティアさんや図書ボランティアさんなどの活動のおかげだと思います。